

山 層 雲 峡 ビ ジ タ ー セ ン タ ー



【 珍鳥・迷鳥 特集 】

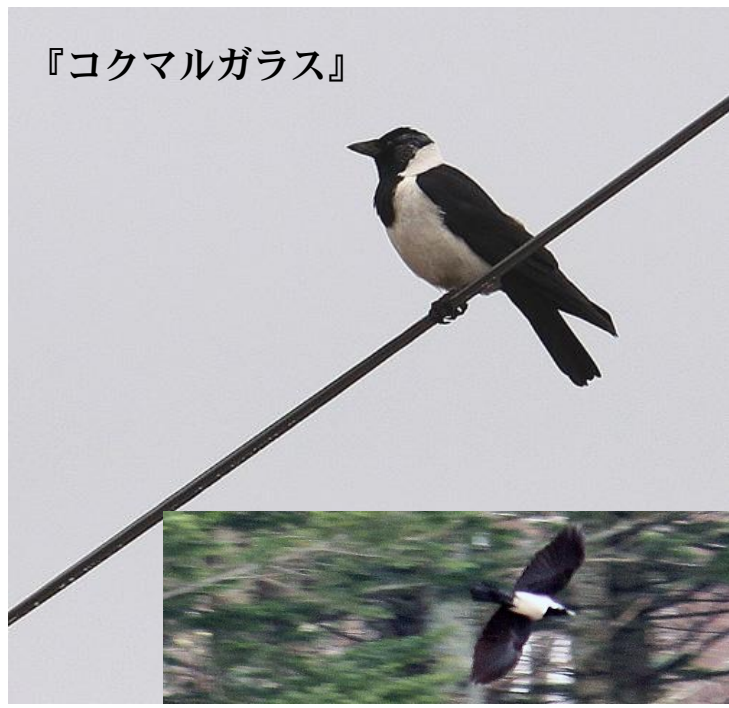
《コチョウゲンボウ～4月上川町》タカ目ハヤブサ科に属する渡り鳥。全長約 30cm で、海岸や草原、農耕地など様々な環境に生息しています。食性は動物食で小型の鳥類を主な餌としています。写真のように開けた場所の杭や電線などに止まり、獲物を探します。鳴き声は「キッキキキ」とやや甲高い声です。北アメリカ大陸北部やユーラシア大陸北部で繁殖し、冬季はアフリカ北部、インド、中国南西部から西インド諸島等に渡り越冬します。日本へは冬鳥として北海道から九州まで各地に渡来します。非常に珍しく上川町では初確認でしたが、その姿からは「ハヤブサ類」と判別できましたが、正式名称については専門家の方に依頼し、コチョウゲンボウと確認されました。

小長元坊
 (コチョウゲンボウ)
 鳥類の中でも奇妙な鳥名がついていますが、名前の由来は諸説ありますが、その一つは・・・
 凶作が続く村の僧侶、長元坊は岩山に登り、絶食して豊作を祈願します。祈りが通じて豊作となりましたが、稔りを確認した秋に体力がなくなりガケから転落死をしてしまいました。ちょうどその頃、畑の上を飛翔する鳥が・・・
 村人はこれは豊作をもたらしてくれた「長元坊様」に違いないと思い、毎年稔りの秋になるとやってくるこの鳥を「コチョウゲンボウ」と呼ぶようになったとか・・・。

『コチョウゲンボウ』
 (下段同)



『コクマルガラス』



《コクマルガラス～5月上川町》スズメ目カラス科に属する迷鳥もしくは稀な旅鳥。全長約 30cm で、森林や草原、農耕地に生息しています。食性は雑食で、昆虫類や種子などを食します。鳴き声は甲高く「キョン キョン キョーン」と短めに鳴きます。日本に飛来するカラス属では最小種です。(ハトと同じくらいの大きさの小型のカラスです) 分布は台湾、モンゴル、ロシア等で、日本へは越冬のため九州等に飛来しますが、稀に北海道にも飛来することがあり、過去には、ほんの数例の観察例があるのみとなっています。上川町では約 30 年前に目撃情報はありましたが、今回が初確認となりました。コチョウゲンボウ同様大変珍しく、この鳥はほとんど観察の機会がないとされています。

【野鳥観察のすすめ】

手軽で適度な運動になる野鳥観察は、健康に配慮される方も含めて、ここ数年で愛好者が増えているようです。また、徐々に知識や経験も深まって、デジカメを始めたり絵を描いてみたり、双眼鏡や図鑑を購入したりと趣味への幅も広がっています。ご自分の体力に合わせて、自然と親しんでみませんか？

★野鳥観察の注意点★

- 静かに観察が基本です ～ 野鳥は非常に警戒心が強いです。大きな声は鳥が怯えて逃げてしまいます。
 - 巣には近寄らない ～ 鳥が巣や卵を放棄して逃げてしまいます。
 - 餌を与えない ～ 自分で餌をとる努力や知恵を忘れてしまいます。
 - ゴミは出さない ～ 糸やプラスチック製品等は、多くの鳥の命を奪っています。
- 等など、ごく一般的な注意事項ばかりです。これらのことを守りながら、楽しく野鳥観察をして下さい。特に、渡りの時期などは珍しい鳥に出会えるチャンスです！



☆大雪山麓上川・層雲峡で見られる野鳥をほんの一部ご紹介します。



上段左上から：シマエナガ・コゲラ・ルリビタキ・オオアカゲラ・コマドリ・キビタキ・ウソ・クマゲラ・ビンズイ・ヤマガラ・アトリ・エゾライチョウ・オアジ・ウグイス・ベニマシコ・オオルリ・ノビタキ・イカル・キクイタダキ・ヤマゲラ 等々 公園や街中で観察できるものが多数です。

【ホームページだより】

エゾリスの餌探し

2013年03月30日 雪 -3°C(12:10)

「エゾリス」が雪の中に顔を突っ込み、何やら物色中です。意外と至近距離にいたのですが、まったく気付かないようで一生懸命に餌探しです。しばらくして、ようやく顔を上げましたが何かを見つけたみたいです。顔は雪だらけになりながら…。両手で押さえて食べていましたが、その瞬間、こちらに気付き一目散に高い場所へ…。

本当に驚いたようで、顔にもその表情がよく出ていました。しばらく「にらめっこ」をしていましたが、今度は全速力です。深い雪の中に埋まりながら森の中に消えていきました。
写真:エゾリス 3/30

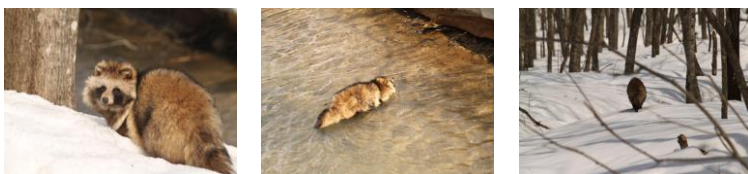


明けました冬籠り(ふゆごもり)

2013年04月14日 曇 +10°C(14:00)

「エゾタヌキ」が冬籠りから目覚めました。そうです、冬眠はしないのです、冬籠りをするのです。太っているように見えますが、昨秋に木の実などをたくさん食べて皮下脂肪を体内に蓄え、それらを消費しながら春を待っていたのです。しかし、歩く速度は本当にゆっくり～ゆっくり～ひょっとして、目覚めたばかりかもしれません。ようやく重い腰を上げて歩き始めましたが、やはりそこは野生。逃げようとしているようです。最後は川に入り(さすがイヌ科、泳ぎも得意です)、上がった後はまた森の中に消えていきました。頑張って餌を探して生き延びてほしいものです。

写真:冬籠り明けのエゾタヌキ 4/14



センターホームページも是非ご覧下さいねっ。

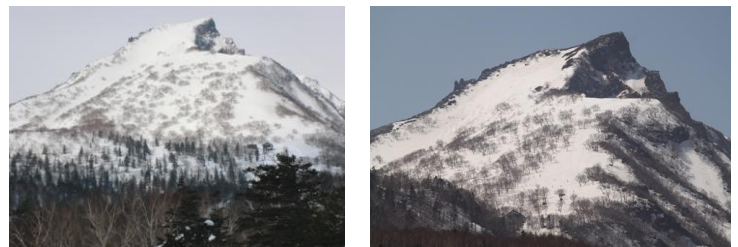
アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>

黒岳の積雪状態

2013年04月28日 雪 -2°C(12:00)

そろそろ春も近くなってきますが、黒岳の北東斜面もそろそろ雪も落ち着き、積雪も減っていく時期となりました。が…写真左側は4/24のもの、右側は昨年4/30のもの…。角度は違いますが、比較するとやはり本年のほうが多いようです。それもそのはず、積雪計では黒岳七合目で本日現在400cm、昨年4/30で240cm、まだ2日間ありますが今後の予報をみても一気に減雪は考えられない状況です。その差約150cm…。
中々暖かくならないため、昨年同様降雪は多かったものの、融ける速度があまりにも違いすぎるようです。

写真:黒岳 左 2013/4/24 右 2012/4/30



痛ましい光景でした…

2013年05月11日 曇 +7°C(11:00)

写真は「エゾユキウサギ」の仔…。残念ながら息絶えています…。エゾユキウサギの繁殖期は2月下旬から7月頃で、出産期は4月から8月頃、出産数はバラツキがありますが通常は2～4頭出産します。1頭のみのお産という場合もあるようですが、このウサギは一体何頭の家族だったのでしょうか?エゾユキウサギは食物連鎖の底辺にあり、個体数も減少しています。天敵は、猛禽類やタヌキなど…。外傷は見当たりませんでしたので、死因は推測の域を出ません。母ウサギは、仔ウサギから離れて行動し、授乳の時だけ仔のもとにやってきます。その間の出来事だったのでしょうか?母ウサギと他の仔ウサギが気になります…。写真:エゾユキウサギ(仔)5/10





■ 2012大雪山フィールドノート写真展

【日時】 常時展示
 【内容】 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介しています。
 【場所】 ビジターセンターレクチャールーム

■ 平成25年度年間行事決定!

- 6/23 春山登山 高原沼めぐり
 - 7/07 定点観測 紅葉谷
 - 8/04 湿原散策 浮島湿原
- (終了分の4月~5月はN054に掲載)



9月以降もさまざまな講座を計画しました。
 詳細は隔月発行のセンターだより及びセンターのホームページをご覧ください。

★★観覧会は事前申し込みが必要です★★
 ★★詳細についてはお問合せください★★



折って切って開いたら、あらすてき♪
 子供から大人まで楽しめます。
 参加自由・無料/申し込みは不要です

しきものカレンダー

3月 ↓		5月 ↓		上川/層雲峡・気象 ↓			
3/24	オジロワシ、オオワシ、カワガラス	層	5/1	カワウ、オオジシギ、キタキツネ(疥癬病)	上		
3/29	ふきのとう、ヤマゲラ	上	5/2	チゴハヤブサ、親子熊(仔2頭)	上		
3/30	エゾリス	上	5/3	キタキツネ(疥癬病)	上		
4月 ↓		5/4	ルリビタキ(雌雄)、ミノサザイ、カヤクグリ	層	4/7	上川日最大風速15.5m(12:12)観測史上最大 上川日最大瞬間風速27.0m(10:09)観測史上最大 7~8日道内大荒れ(暴風・大雨等)	
4/1	ハイタカ	層	5/5	クロツグミ、シメ20羽、アカハラ20羽、ベニマシコ	上	4/12	層雲峡降雪15cm(積雪深104cm 道内5番目 全国10番目)
4/2	キタキツネ(疥癬病)	上		クロツグミ、オジロワシ、アリスイ、ウグイス、ヒグマ	層	4/23	上川町積雪深ゼロ(結果的に昨年同)
4/3	エゾリス(上)、クマガラ	層	5/6	クロツグミ、シロハラ、エゾモモンガ、アライグマ足跡	上	4/24	日暈
4/6	ベニマシコつがい、オオマシコ雌	上	5/7	クロツグミ(雌)、モズ、ウソ10羽	上	4/27	層雲峡降雪6cm(温泉街一帯雪被る 上川町同)
4/8	ハクチョウ	上	5/8	エゾエンゴサク(昨年は4/22)	上	4/28	層雲峡降雪8cm、上川1cm(層雲峡昨年は4/27積雪深ゼロ) 層雲峡積雪深64cm、道内4番目 全国6番目に多い量
4/9	ふきのとう	層	5/9	熊足跡	層	4/29	層雲峡降雪2cm、上川1cm
4/9	エゾリス、アオサギ、ホオジロ、モズ	上	5/10	チゴハヤブサ、ヒバリ・オオジシギ多数、カワラヒワ200羽	上	4/29	温泉街28~29日真冬日(28日最高-6 最低-1 29日-5 -2)
4/11	エゾタヌキ	上		エゾリス、エゾユキウサギ仔(死骸)、ピンズイ、キタキツネ、ノスリ	上	4/30	層雲峡4月降雪量 108cm 積雪深58cm 昨年同時期降雪量 84cm 積雪深 0cm
4/12	イイズナ、ホオジロ	層	5/13	オオトリ、コマドリ、センダイムシクイ	上	4/30	上川4月降雪量 61cm 積雪深 0cm 昨年同時期降雪量 47cm 積雪深 0cm 積雪深層雲峡平年比560%
4/13	エゾユキウサギ、エゾモモンガ	上	5/14	コケマルガラス~上川初記録、熊足跡	上	4/30	累積積雪量(1/1~4/30)層雲峡961cm 昨年同時期742cm 累積積雪量(1/1~4/30)上川771cm 昨年同時期616cm
4/14	キタキツネ、エゾタヌキ	層	5/15	クマガラ、オオトリ、コマドリ、コルリ、アカハラ多数	層	5/1	層雲峡積雪深56cm 5/1現 5月観測史上1位
4/17	エゾノリュウキンカ、ノビタキ、ヒバリ	上	5/16	オオタカ、ツツドリ、ミヤマガラス~上川初記録 カタクリ(昨年は5/1)	上	5/2	層雲峡降雪4cm 上川積雪深3cm(5月観測史上1位)
4/18	ジョウビタキ	上	5/18	チゴハヤブサ、イカル30羽、エゾムラサキツツジ(昨年は4/30)	上	5/3	層雲峡降雪14cm、上川3cm(層雲峡積雪深69cm)道内2、全国3)
4/19	ルリビタキ	上		コブシ(昨年は5/1)(上)、アカショウビン、シマリス、オオアカゲラ	層	5/4	層雲峡降雪5cm、5/6 1cm 5/7 2cm
4/20	ノスリ、トラツグミ	層	黒岳気象 ↓			5/11	層雲峡温泉街早朝+1℃(今春初めての早朝プラス気温)
4/22	福寿草(昨年より一週間開花遅れ)	上	3/21	七合目積雪400cm(昨年同日360cm)		5/16	層雲峡積雪深ゼロ
4/23	カワラヒワ、トラツグミ、キセキレイ、エゾリス コチョウゲンボウ(ハヤブサ科)~上川町初記録	上	3/23	七合目積雪440cm(昨年同日360cm)		5/17	上川早朝霜
4/24	ウグイス、アオジ、ノスリ、エゾライチョウ シロハヤブサ~上川町初記録	上	4/20	七合目積雪410cm(昨年同日320cm)			観測地 : 上・上川 層・層雲峡
4/26	エゾタヌキ、アカハラ、シロハラ~上川町初記録	上	4/30	七合目積雪370cm(昨年同日240cm)			カレンダー期間 : 03/21~05/20
4/27	ミノサザイ	層	5/5	七合目積雪395cm			
4/27	イソシギ	上	上川/層雲峡・気象 ↓				
4/29	ヤツガシラ、クロツグミつがい	上	3/22	層雲峡降雪15cm			
4/30	ベニマシコつがい、ツグミ、シメ、ウソ シロハラ・アカハラ多数、ハシビロガモ~上川町初記録	上	3/28	上川・層雲峡降雨			
		上	3/30	上川・層雲峡断続的に吹雪			
		上	3/31	層雲峡3月降雪量 252cm 積雪深139cm 昨年同時期降雪量150cm 積雪深104cm			

絶景!大雪山連峰!大雪山麓から大雪山を見
 る雄大なポイント。オススメです!!!



発行:大雪山国立公園 
 TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401
 アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>
 開館時間 6月~10月/8:00~17:30無休・入館無料
 11月~5月/9:00~17:00月曜日休(祝祭日は翌日)



大雪高原旭ヶ丘から